



Sponsor a Child

クリスチャンパートナーズ

通信第 78 号

-
- ・発行日 / 2009 年 4 月 10 日
 - ・発行所 / クリスチャンパートナーズ
 - ・事務局 / 〒422-8053
 - ・Tel / Fax 054-283-9317
 - 静岡市駿河区西中原 2 - 7 - 63 - 1001
 - ・e-mail / cnec-kk@mail.wbs.ne.jp
 - 草野計雄方
 - ・<http://www2.wbs.ne.jp/~c-p/>
 - ・郵便振替口座 / 00150 - 0 - 134994
-

「あなたはどこにいるのか」

(旧約聖書 創世記 3 章 8 節 ~ 9 節) 理事長 木ノ内 一雄

旧約聖書、創世記の三章に書かれている出来事により、世界はそれ以前とすっかり変わってしまいました。それ以前は、わたしたち人類の先祖アダムとエバはエデンの園に住み、神との霊的な交わりを持っていました。二人も互いに愛と信頼とによって結ばれ、世界は彼らの支配に委ねられ、平和と喜びが満ち溢れた牧歌的な雰囲気がありました。しかし、その出来事後、人は神との霊的な交わりを失い、神を恐れ、避けるようになりました。様々な苦しみ生まれ、汗を流して耕した土地からはいばらとあざみが生じるようになりました。二人の関係も以前のようにではなくなりました。

その出来事とは一体何だったのでしょうか。エデンの園の中央には「命の木」と「善悪の知識の木」がありましたが、神はアダムとエバに他の木から自由にその実を取って食べてもよいが、善悪の知識の木の実は取って食べてはいけない、食べると死ぬと言われました。ところが誘惑者である「へび」がやって来て二人をそそのかすと、彼らはその木の实を食べてしまったのです。

「命」と「善悪の知識」は神に属するものでした。二人はそれを自分のものにしようとしたのです。それ以降、今日に至るまでいつの時代も人殺しや戦争があり、様々な問題が絶えません。私たちはこれらの問題を環境や教育によって正そうとします。しかし、聖書は神との誤った関係を正す以外に問題を解決することはできないこと、そして罪を犯した人間の側から神との関係を回復することはできないことを教えます。それ故、神は独り子、主イエスをこの世に遣わされたのです。旧約聖書はこの三章以降、わたしたちに救い主が与えられること、そして新約聖書はこの救い主が与えられたことを証します。

主イエスを神の子と信じるのが、失われたパラダイスを回復する唯一の道です。人間の「善悪の知識」ではなく信仰によるのです。「あなたはどこにいるのか」、誰でも人生の苦難にあうと必ず一度はこの神の声を耳にするのではないのでしょうか。わたしたちが海外の子供たちに学費を援助するのも、神がこのように呼びかけていることを一人でも多くの人に知らせるために他なりません。その声に耳を傾けて救われるなら、天に大きな喜びの声があがると信じるからです。



ロバン村教会学校の生徒たち

西カリマントン ロバン村 SAC 宣教報告

2008 年 12 月 牧師トーマス・ジュニアルディ

支援者の皆様

主の御名を賛美し、いつも私達に注がれる神の愛と守りを感謝いたします。主が私達を信頼して宣教の働きを導いてくださっていることを実感しています。

ロバン村での SAC による宣教の働きは、ヤコブ・ヤップ牧師が 1988 年にインドネシア教団の教会を建て、次いで 1990 年から子どもを学校にやれない貧困家庭を援助し、キリストの福音を伝えようという目的で始まりました。現在 57 名の子どもがこの村では SAC 支援を受けています。

ロバン村には現在 150 家族が暮らしています。彼らは農業、金採掘、漁業、工場労働などに従事しています。大方の家族は仏教か儒教を信じており、中国系です。



ジュニアルディ家

SAC 支援を受けている子ども達には、毎日曜日の教会学校のほか、2008 年の年間行事として、人形芝居や聖書の知識を増進するクイズやゲームを楽しむ集会が行なわれました。

SAC の里子たちは元気です。日々通学するほか、毎日曜日には朝 7 時に教会学校に来ます。11~12 月にはクリスマス祝会のために踊り・歌・劇の練習で大忙しでした。

インドネシア教団ロバン村教会の牧師として、この子どもたちを支援してくださっている皆様に、心から感謝を申し上げます。子どもたちに教育を与え、教会学校に出席することを可能にする援助は、大きな助けです。



教会学校に集まった子どもたち



購入を希望している教会の敷地

祈っていただきたいことは・・・

1. ロバン村教会の建っている土地の所有者が、土地を売りたいがっています。何人が買いたいと思っている人がいます。この場所は村から歩いてこられて、子ども達や教会員が教会の活動に参加するのに大変便利な所なので、どうかしてこの土地を購入したいと、祈り続けています。
2. 子ども達の家庭の経済状態は相変わらず劣悪で、改善の兆しが見えません。

以上が 2008 年のロバン村からの御報告です。主のお守りを祈ります。 2009 年 1 月

ロバン村の SAC 里子 57 名のうち、クリスチャン パートナーズが支援しているのは 50 名です。

土地の購入については、長年ロバン村教会の課題になっていますが、所有者の意志がはっきりせず、交渉はたびたび頓挫してきました。クリスチャン パートナーズでは、ほとんどの理事が現地を見ているので、なんとか購入できるように助けたいと思い、現在シンガポール事務所を通して情報を集めています。4 月にシンガポール P I の責任者ジェームス・ライ師が来日されるので、話し合う予定です。

ウミ・プルワンティさん神学校卒業

親愛なるクリスチャン パートナーズの皆様
イエス様の愛と平安がありますよう御挨拶いたします。

去る2月21日、同級生たちと共に、ATI 神学校を卒業することができました。今まで神学校での学びと訓練を助けてくださった神様に、心から感謝いたします。総合成績で大変よい評価を得て卒業でき、とてもうれしいです。すべては神の恵みであり、また、今日まで続けて祈りサポートしてくださった皆様の助けによります。大きな、大きな感謝を皆様に申し上げます。皆様がよくしてくださったことに対して、私は何もお返しできませんが、

すべての祝福の源であるイエス・キリストが、いつもその恵みを皆様の家族、仕事、奉仕の上に豊かに注いでくださいますようにお祈りいたします。

どうか、私の卒業後の奉仕と将来のためにお祈りください。いつも強く、そして誠実な歩みをするようにと願っています。皆様の祝福を祈りつつ、心よりの感謝を込めて：

ウミ・プルワンティ

(卒業後はシンタンの教会で奉仕の予定。「通信」第65、第74、第77参照。昨年宮澤理事が神学校で直接会った。)



卒業式のウミさん

高橋めぐみ宣教師から紹介の新奨学生：デピさんとダミさん

シャローム 私の名前はデピです。マレーシアとの国境のエンティコン出身です。現在、ポンティアナック市のウィディア・ダルマ大学の1年生で、コンピューター情報学部、システム・インフォメーション学科で学んでいます。

今日に至るまで神様の愛と助けがあることを感じ、心から感謝しています。私は高校生の時、エンティコンのグロリア寮に1年半お世話になり、その後スンガイ・ピニュの高校に転校して、高橋宣教師のお宅から通いました。



制服のデピさん

クリスチャン パートナーズの皆様が祈りをもって私を援助してくださっておいでのことを感謝いたします。神様の愛と祝福が皆様の生活、奉仕、仕事の上に豊かにあるようにお祈りしています。心より感謝いたします。



ダミさん

シャローム 私はダミです。1988年7月15日、パウツ・ダンクに農家の4人兄妹の末っ子として生まれました。

全能の神様に賛美と感謝をお捧げします。神様の祝福と恵みのゆえに健康を守られ、学びを続けることができ、現在タンジュンプラ大学教育学部、インドネシア文学学科で学んでいます。

今日まで祈りをもってサポートしてくださっているクリスチャン パートナーズの皆様に、感謝を申し上げます。皆様のお蔭で大学での学びを続けることができます。皆様に何もお返しすることができませんが、皆様のた

めに祈りつつ、真剣にまなびを続けたいと思います。イエス・キリストが皆様に恵みと祝福をもって報いてくださるようにとお祈りいたします。

ダミの祈りの課題：田舎にいる家族の信仰の成長、仕事・健康・必要が満たされるように。学費の一部を援助してくれているエンティコンのシマウ叔母のために。私の学びの日々が守られように。

岩崎理事のご紹介で 1996 年から SAC の里子 2 名を支援してくださっている
コーラスグループの皆さんを、練習場の下田教会に竹澤理事がお訪ねしました。

コーラス・シルバーローズ を訪問して

竹澤三佳子



礼拝堂での練習

伊豆急下田駅近くに創立 120 周年を迎える下田教会があります。その礼拝堂で、毎月第 1、3 水曜日の午後 2 時～4 時に合唱の練習をなさっている女性合唱のグループ《コーラス・シルバーローズ》を、私は 3 月 4 日に訪問し、その練習風景を見学させていただきました。シルバーローズは結成 12 年、平均年齢 69 歳で 20 名の会員をもち、讃美歌からポップスまで

レパートリーが 132 曲というベテラングループです。

1 昨年には 10 周年記念コンサートで定員 100 名の会場を魅了し、各地の老人ホームや施設の慰問を積極的に行っていました。クリスチャンパートナーズでは、2 人の SAC 里子の教育支援を 15 名で支え、「通信」を読んで活動を理解して下さっているようで、初めてお会いしたとは思えないほど親しみを感じました。皆さんが心を一つにし、

想いを歌に託して周囲の方々を元気付けておいでになります。この静かな情熱が遠いインドネシアの子ども達に届けられているように思います。SAC の活動は「支援金を送り、祈る」という顔の見えにくいボランティアですが、子ども達のためにコツコツとお金を貯めて事務局へ送ってくださることは、「2 人がそこにいる」から出来ると思うのです。そして、会うことはかなわなくても、実際に日本で応援している方々がおいでになることを子ども達が理解しますようにと願います。



礼拝堂前方に集まった当日練習の方々

【理事会報告】第 155 回理事会は 2009 年 1 月 26 日(月)一ツ橋学士会館で開催。前回議事録承認。2008 年 10・11・12 月度会計報告承認。里子 里親リスト改訂版配布。新リーフレットの最終案は次回提示。シンガポール P I 責任者ジェームス・ライ夫妻来訪は 4 月 13 日、学士会館滞在、歓迎プログラム協議。ロバン村 SAC 宣教報告配布。同教会敷地購入希望を支援する件につき協議。竹澤理事シルバー・ローズ(里親グループ)訪問予定。「通信」第 78 号原案は次回理事会に提示。内容はロバン村 2008 年宣教報告、高橋先生関係奨学生近況など。

第 156 回理事会は 2009 年 3 月 23 日一ツ橋学士会館で開催。前回議事録承認。2009 年 1・2 月度会計報告承認。里子一里親リスト 1 月 31 日付配布。ライ夫妻歓迎プログラムについて、責任分担・費用等協議。理事会歓迎晩餐会は 4 月 15 日学士会館。ロバン村教会敷地購入の件はライ師と協議。「通信」第 78 号は第 1 ページができ次第 4 月初旬発行。庄司理事は、夫人の健康上の理由で夜間の外出が困難なため、理事辞任を申し出られた。理事会は残念ではあるが承認。第 159 回理事会は 6 月 15 日(月)一ツ橋学士会館で開催予定。

<編集後記> 高橋めぐみ宣教師が奨学生の写真や手紙を送って下さいました。セイダウン小・中学校の先生方の写真は次回ご紹介します。ロバン村には多数の SAC 里子がいいますから、教会の長年の夢の実現にお手伝いできればうれしいことです。

イースターを目前にして、大自然の春の喜びを感謝しましょう。お元気で。

鳥海百合子